



銀行口座をお持ちの方が使える
安心・安全なスマートフォン決済サービス

BP Bank Pay **Bank Pay**

のご紹介

2020年1月10日
日本電子決済推進機構

はじめに

- ✓ 既存のAll BankのJ-Debit基盤を有効活用し、金融機関共通のQR決済のご提供を目指して、Bank Payに取り組んできました。
- ✓ Bank Payは、2019年10月31日にサービス開始（先行リリース）。
- ✓ 現在、3メガ含む20金融機関にてご利用中。
- ✓ 参加意向をお持ちの700以上の金融機関（J-Debit参加中）の早期開始施策を実施中。
- ✓ 大手企業様において、Bank Payのご採用に向けたお話しをいただく事例が出始めている。このような先は、金融機関の信用や信頼性を評価し、将来に亘って安定的にサービス提供を行うことを期待されているものと思料。
- ✓ このJ-Debit基盤は、金融機関間取引を日単位でクリアリング（交互計算）し、決済尻を即時性・安全性をベースとした全銀システムにて為替交換することで、安価な小口決済を実現している。

1. ご提供サービス 参加金融機関等

✓ 2019年10月31日（木）よりBank Payを先行リリース

日本電子決済推進機構

2019年10月31日（木）
スマホ決済サービス「Bank Pay」の先行取扱開始について
～金融機関口座を使ったスマホ決済サービスが可能に～

日本電子決済推進機構（東京千代田区、会長 本間洋）は、2019年10月31日からスマホ決済サービス「Bank Pay（バンクペイ）」（以下、Bank Pay）の先行取扱いを開始いたしました。

Bank Pay は、利用者が加盟店店頭にてスマートフォンをかざすだけで、銀行口座から直接支払いができるサービスです。利用者は、日本電子決済推進機構が提供する金融機関共通の「Bank Pay 利用者アプリ」を利用することで、Bank Pay 対応金融機関であればどの口座（※1）でも利用可能となる利便性に加え、金融機関ならではの安心・安全な決済を利用できます。

このたび、2019年10月31日に「Bank Pay 利用者アプリ」を App Store/Google Play に公開し、利用者のスマートフォンで加盟店店頭に表示されている QR コード（※2）を読み取る MPM 方式（※3）から先行してサービスを開始いたしました。

Bank Pay でお支払いできる加盟店は、福岡県・福井県・三重県から開始し、11月以降も兵庫県、山口県、熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県等にも順次拡大予定です。

10月31日時点でお申し込みをいただいている Bank Pay 取扱い個所は、約500か所です。また、Bank Pay が利用できる金融機関も15行から開始し、順次拡大してまいります。

2020年春（予定）には、利用者が QR コードを表示し、加盟店のバーコードリーダー等でスキャンして読み取る「CPM 方式（※4）」、Bank Pay の機能を小売企業等に開放し、利用者が普段お使いの飲食店のクーポンアプリやアプリバンドのショッピングアプリなど、企業独自のアプリ内でも銀行口座からの支払機能をご利用いただける「加盟店 Pay サービス」等へサービスを拡大、その後、プリペイド（カード、アプリ）へのチャージ等、様々な利用シーンを想定し、企業・利用者のニーズに合わせて、Bank Pay の機能を拡充し、本格的に展開してまいります。

日本電子決済推進機構は、今後も幅広い分野での安心・安全・便利な決済サービスとその周辺ビジネスの普及推進等、豊かなキャッシュレス社会の実現を目指してまいります。

※1 金融機関によっては Bank Pay お取扱い対象外の口座があります。詳しくは、ご利用希望の金融機関にご確認ください。

※2 「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※3 Merchant Presented Mode（利用者読取方式）の略

※4 Consumer Presented Mode（加盟店読取方式）の略

参加
金融機関

先行リリース中の金融機関の参加状況は下記の通り（2020年1月7日時点）。

◆ 発行金融機関：20行

みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、秋田銀行、群馬銀行、常陽銀行、福井銀行、静岡銀行、百五銀行、京都銀行、百十四銀行、伊予銀行、西日本シティ銀行、福島銀行、愛知銀行、第三銀行、愛媛銀行、鳥取銀行（合計20行）

※2019年4月アンケートでは700行以上が参加意向を表明

参加
加盟店

九州地方、東海地方、北陸地方を中心に、加盟店拡大中（2019年12月24日時点）

- ・ サービス導入決定加盟店数（約1500社）
- ・ サービス開始決定端末数（約3000端末。QRステッカー等含む）

2020年春の正式リリースに向け、加盟店金融機関にて営業推進中。

1. ご提供サービス（金融機関Pay）

- ✓ 金融機関Pay：金融機関が提供するサービス
- ✓ 金融機関Payは、JEPPPO共通アプリと金融機関独自アプリの2種類
 - JEPPPO共通アプリ：JEPPPOの仕様に準じたアプリ
 - 金融機関独自アプリ：金融機関独自のアプリ

金融機関Pay		提供機能・提供時期	機能内容
<p>JEPPPO共通アプリ</p> 	<p>金融機関独自アプリ</p> 	<p>MPM（提供済）</p> 	<p>QRコード読み取りによる支払い</p> 
		<p>CPM（2020年3月提供予定）</p> 	<p>コード（QRコード/バーコード）提示による支払い</p> 

2. Bank Payの取組意義

- ✓ デジタル化・規制緩和・キャッシュレス推進等の外部環境が変化中、銀行の信頼性の高さ・リソースを活用し、利用者へ安心安全、低コストの決済基盤を継続して提供する

新興事業者による決済領域が拡大し
情報の集約が進展

このままでは、金融機関にとって脅威



銀行の強みは信頼性、銀行口座とレガシー（J-Debit基盤）を活用した低コストでのデビット決済の実現

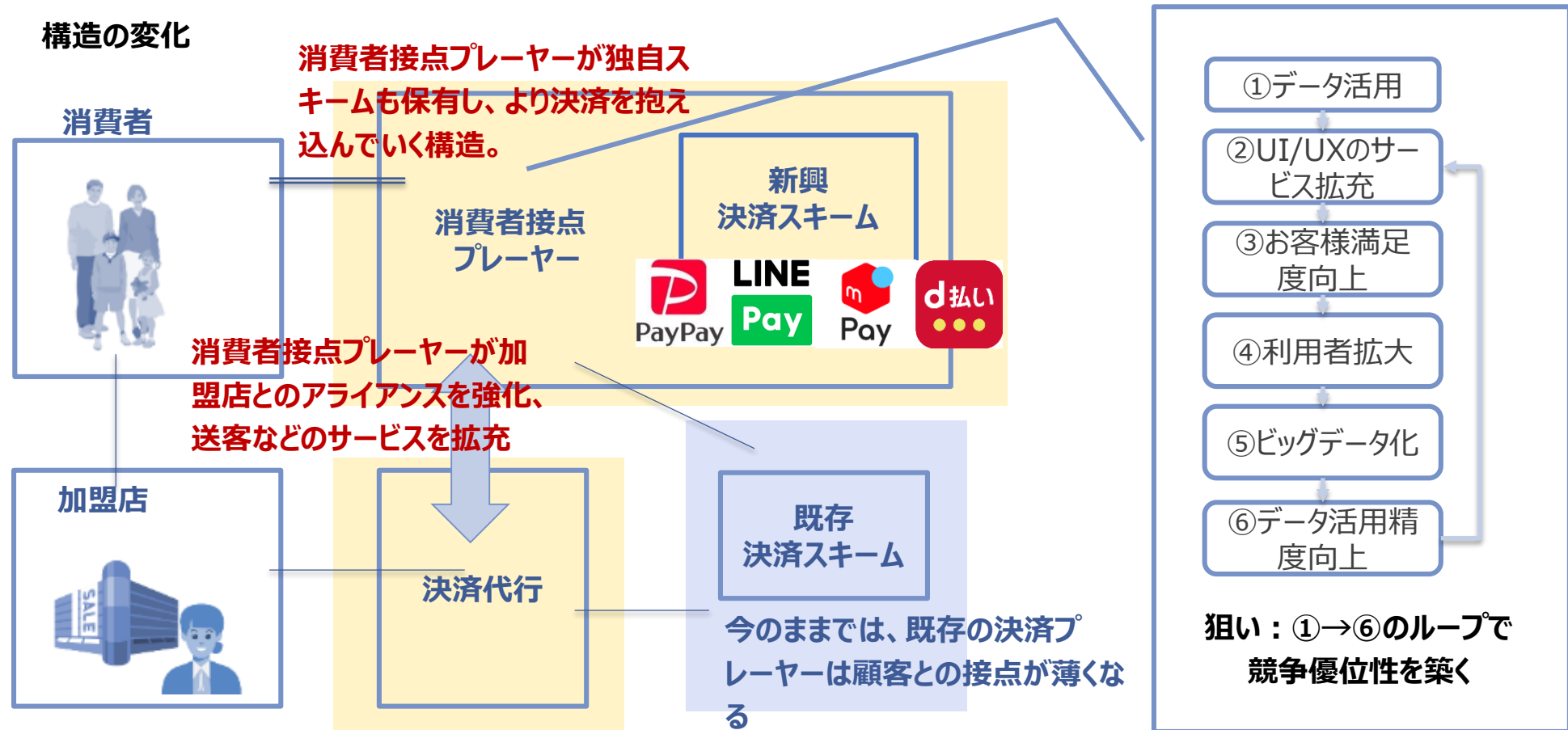
引き続き、圧倒的多数の“アカウント＝口座”を活性化するために、利用者へ安心安全な決済インフラを提供

次世代の決済基盤 = Bank Pay



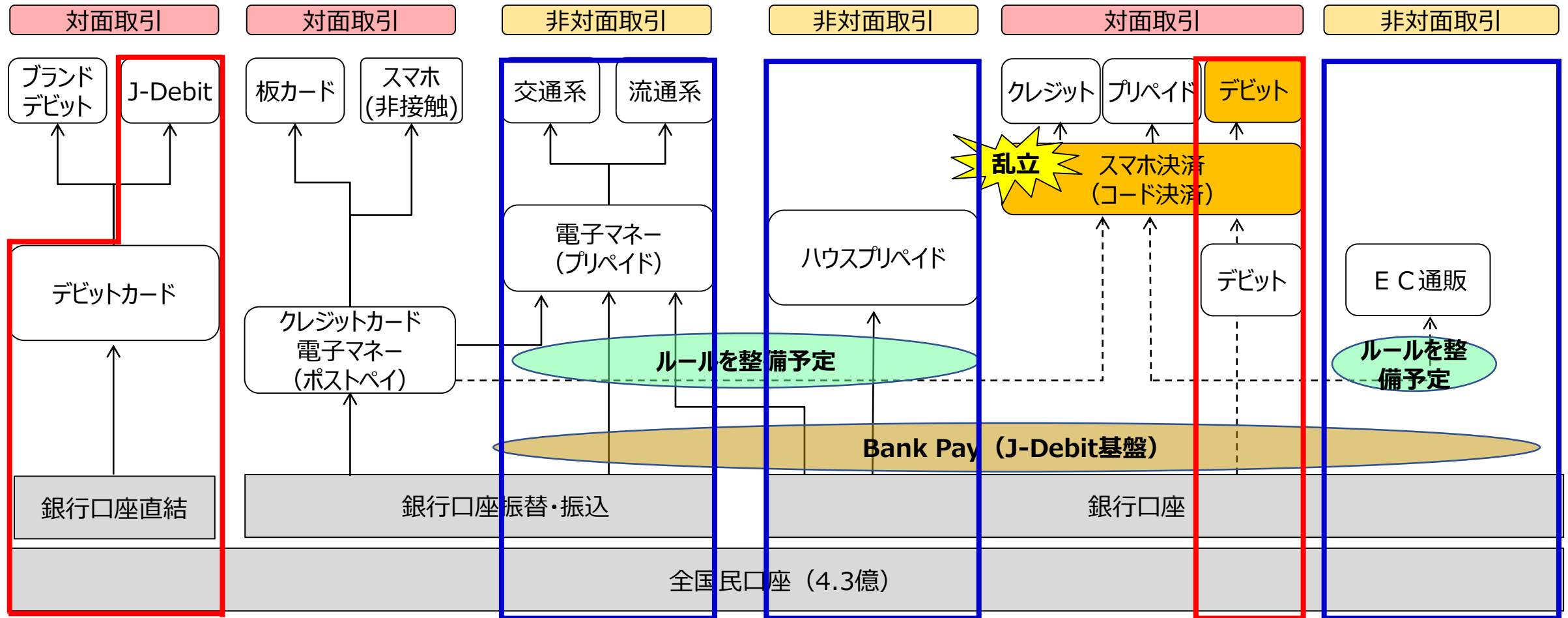
2. Bank Payの取組意義（決済マーケットの構造変化）

- ✓ 先行QR事業者等の消費者接点プレイヤーにとって、行動履歴とともに購買履歴は重要なお客様データ。
- ✓ 決済サービス提供は情報収集のための手段と位置付けてプロモーションを実施。
- ✓ これらのデータを自らの事業拡大のためにフルに活用することを指向。



3. Bank Payがカバーする対応領域

- ✓カード型のJ-Debitに加え、スマホ対面決済（Bank Pay）を展開
- ✓加えて、非対面取引の対応により、Bank Pay（J-Debit基盤）でキャッシュレスの対応領域を拡大



(※) 出典：NTTデータ経営研究所、および三井住友銀行調べ

3. Bank Payが次にリリース予定の加盟店Pay

✓ 加盟店Payは、企業の会員証スマートフォンアプリや、決済アプリ（●●ペイ、●●ウォレット）の裏側にBank Payの決済機能を搭載するもの

	加盟店Pay (JEPPPO仕様)	加盟店Pay (ハウス仕様)
特長	JEPPPOが提供するQRコードを利用	企業独自のQRコードを利用
利用イメージ	<p>＜A社店舗＞</p> <p>＜Bank Pay加盟店＞</p> <p>全国のBank Pay加盟店で利用可能</p> <p>JEPPO仕様QR</p>	<p>＜B社店舗＞</p> <p>独自仕様QR</p>
想定される企業	・ウォレット型サービス提供企業、大学（学生証アプリへの搭載）など、全国のBank Pay加盟店での決済を想定	・通販、衣料品、スーパーマーケット、ドラッグストアなど提供しているアプリの裏側に決済機能として搭載し、自社店舗のみでの決済を想定

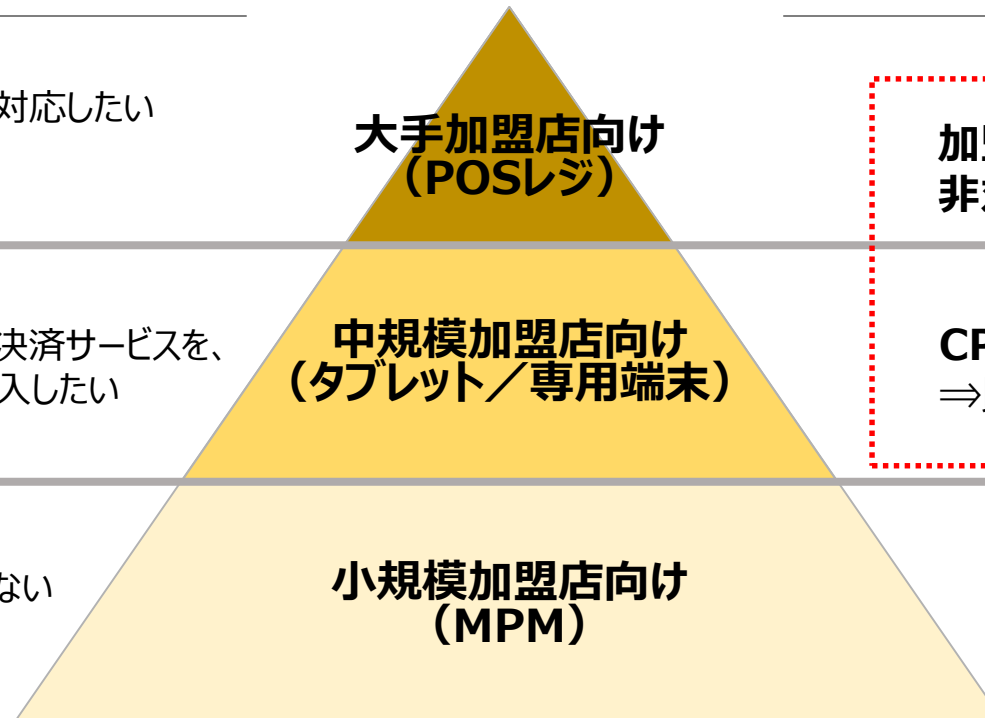
3. Bank Payの加盟店のターゲットとアプローチ

- ✓小規模層向けMPM方式は提供済。拡大フェーズとして大手・中規模向けに加盟店Pay、CPM方式をリリースし、全てのターゲット層にアプローチ可能なソリューションを具備
- ✓加盟店Payは、個社毎に加盟店提供アプリとBank Payシステム連携を加盟店銀行がサポート
- ✓CPM方式は、事業者のPOSシステムや既存端末との連携を実現するための施策を展開（ゲートウェイ事業者、情報処理センター）

主な企業ニーズ

- POSレジシステムと連携したい
- EC決済やハウス電子マネー決済に対応したい
- 自社アプリと連携したい
対象店舗数：約5.5万店舗
- POSレジシステムと連携したい
- 既存端末を活用し、新たな複数の決済サービスを、同一精算、同一オペレーションで導入したい
対象店舗数：約30万店舗
- 導入コスト、手数料率を抑えたい
導入・オペレーション負荷を掛けたくない
- 対象店舗数：約120万店舗

主なソリューション

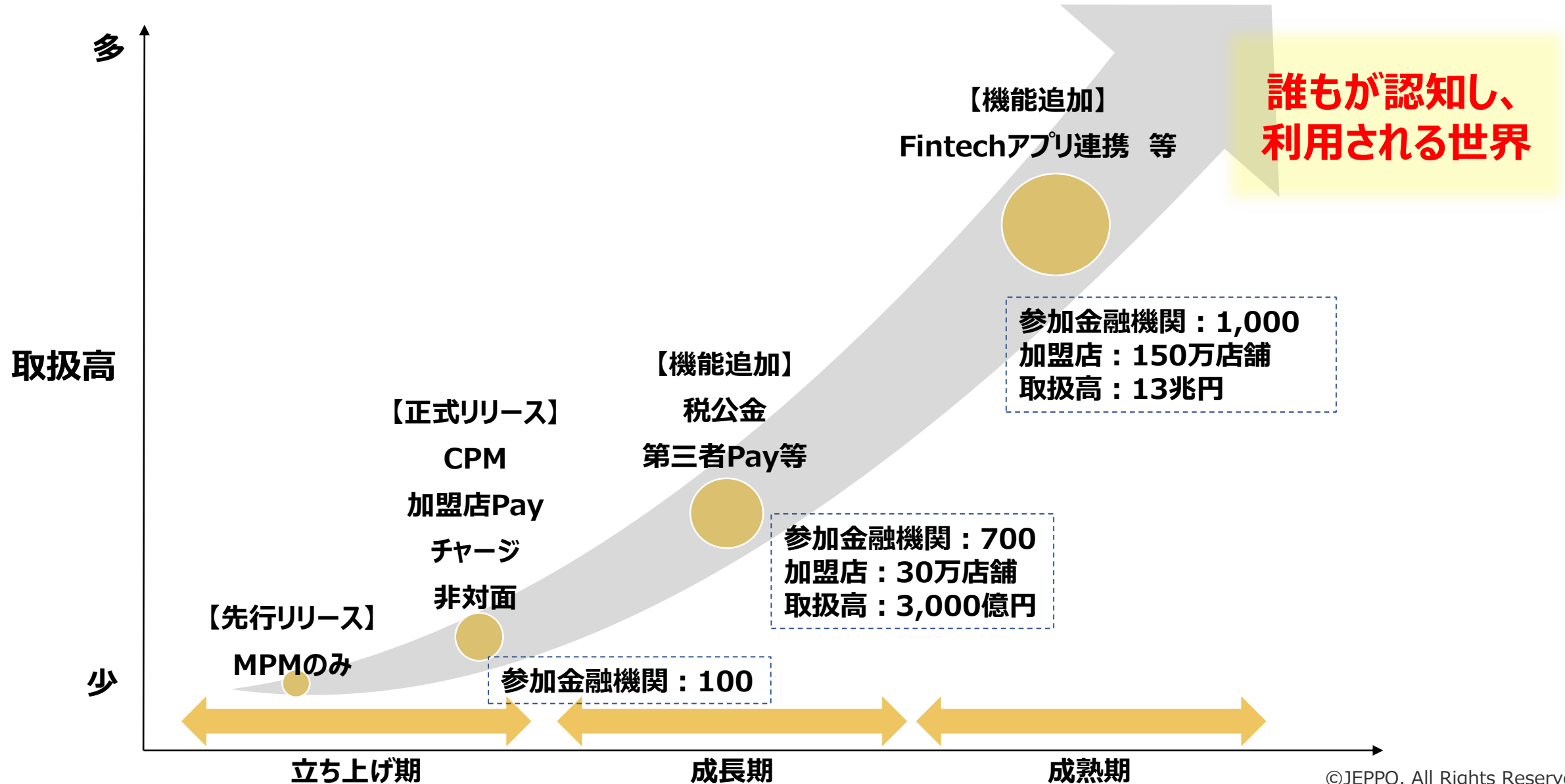


加盟店Pay
非対面方式（電子マネーチャージ等）

CPM（GW事業者連携）
⇒既存情報処理センター連携

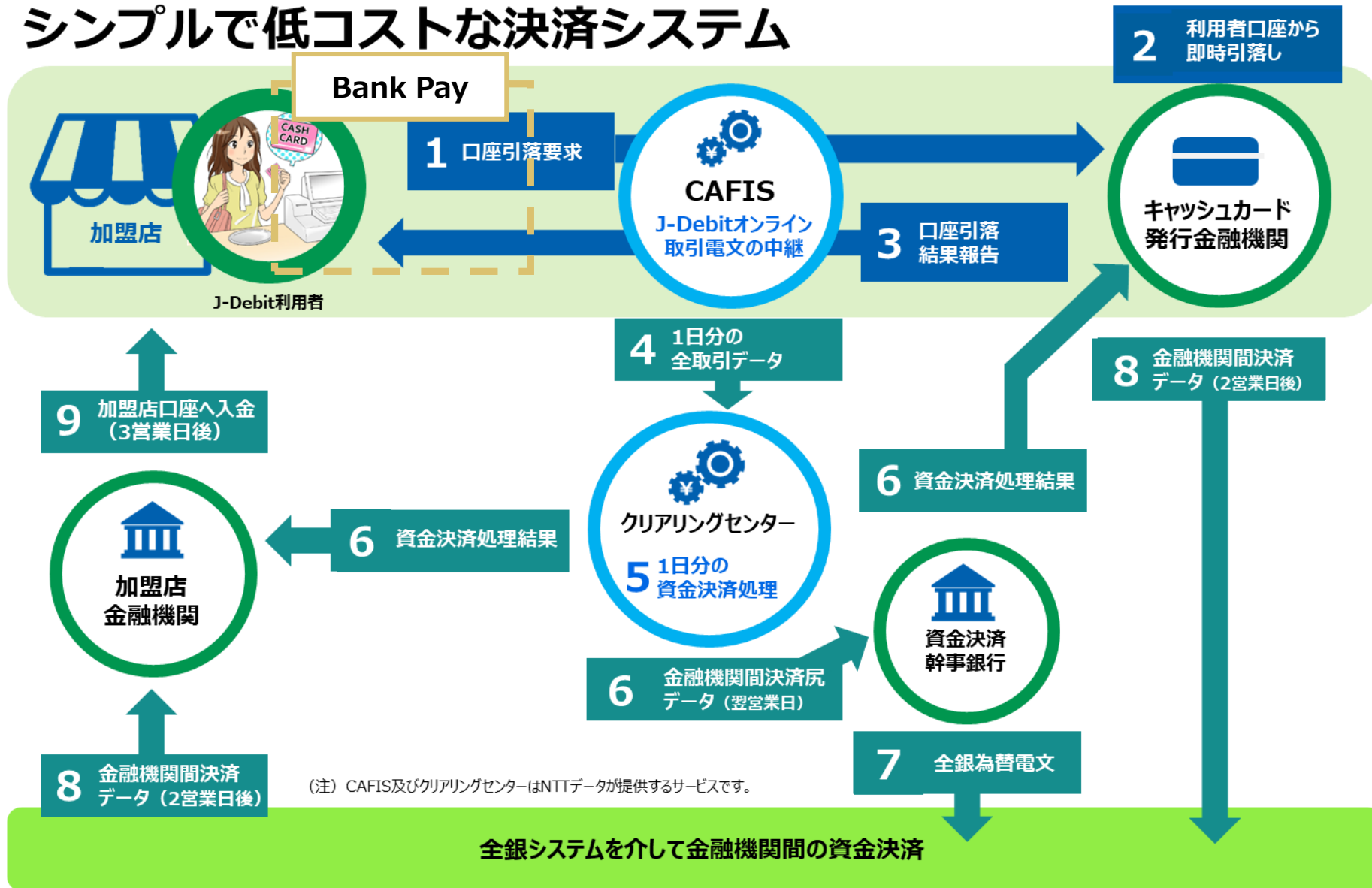
金融機関Pay（MPM方式）

4. Bank Payのロードマップ



5. Bank Payを支えるJ-Debit基盤

シンプルで低コストな決済システム



6. まとめ

- ✓ Bank Payは、2019年10月31日（木）に先行リリースを実施。
- ✓ 現在、3メガ含む20金融機関にてご利用中。
- ✓ 参加意向をお持ちの700以上の金融機関（J-Debit参加済）の早期参加施策を実施中。
- ✓ **金融機関が持つJ-Debit基盤を活用してキャッシュカード→スマホアプリとしたQRコード決済Bank Payを実装。口座直結かつ少ないノード構成で、QRコード決済を実現している事例。**
- ✓ **このJ-Debit基盤は、金融機関間取引を日単位でクリアリング（交互計算）し、決済尻を即時性・安全性をベースとした全銀システムにて為替交換することで、安価な小口決済を実現している。**
- ✓ **安全な小口決済を安価に実現し、今後は即時性（現在はT+3の加盟店入金）を高めていくことも目指したい。**